

KOGAKUIN RACING TEAM

月間活動報告書

2026 February



KRT

KOGAKUIN RACING TEAM

CONTENTS

- ・チームリーダー/
テクニカルディレクター挨拶
- ・2月の日程/3月の予定
- ・各セクションの活動報告
- ・スポンサー様一覧
- ・連絡先





チームリーダー挨拶

チームリーダー 石井伶奈



春暖の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

改めまして、平素より弊チームの活動に多大なるご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。皆様からのご厚情を励みに、今後もより一層精進してまいります。

2月は1年生を中心にコスト審査に向けた勉強会を行いました。チーム全体としてもレギュレーションや統一事項を一通り確認する良い機会となりました。

3月にはシェイクダウンも控えておりますが、並行して各静的審査の書類提出に向け、必要資料の準備を進めてまいります。また、より多くの新入生を迎え入れるため、XなどのSNSを通して、チームの魅力を発信していく予定です。

引き続きご指導ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

テクニカルディレクター挨拶

テクニカルディレクター 松本悠暉



春暖の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます

平素より弊チームの活動に多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

2月はフレームをはじめとする主要パーツの製作が着実に進行し、日々の活動を通してメンバー一人ひとりの技術力や意識の向上を実感しました。これもひとえにスポンサーの皆様のご支援の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

3月は各部品の製作および組み付けを進め、3月13日のシェイクダウン実施に向け準備を進めてまいります。

車両完成に向け、メンバー一同誠心誠意取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



2月の日程、3月の予定

2026年2月

	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	2月6日	2月7日
パワトレ	燃料タンク製作						
足周り	スフェリカルケース予備製作、A-armブラケット溶接						
シャシ	フレーム溶接、26車両製作				SES提出	26車両製作	
エアロ	製作						

	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日	2月12日	2月13日	2月14日
パワトレ	燃料タンクすり合わせ						
足周り	スフェリカルケース予備製作、A-armブラケット溶接						
シャシ	26車両製作						
エアロ	製作						

	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日	2月20日	2月21日
パワトレ	パーツのステー類製作						
足周り	A-arm溶接、塗装						
シャシ	26車両製作、溶接						
エアロ	製作						

	2月22日	2月23日	2月24日	2月25日	2月26日	2月27日	2月28日
パワトレ	パーツのステー類すり合わせ						
足周り	組付け						
シャシ	26車両製作、溶接		シャシ部品完成			組付け	
エアロ	製作						

2026年3月

	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日	3月5日	3月6日	3月7日
パワトレ	パーツのステー類すり合わせ						
足周り	カラー製作			組付け			
シャシ	製作						
エアロ	製作						

	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日	3月14日
パワトレ	車検適合				初爆	シェイクダウン	
足周り	干渉確認	接地	ブレーキ類整備			シェイクダウン	
シャシ	製作						
エアロ	製作					シェイクダウン	

	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日
パワトレ	車検適合		エンジン整備講座			試走準備	富士試走
足周り	予備パーツ製作				アライメント	富士試走	
シャシ	コスト・組付け					富士試走	
エアロ	コスト・製作						富士試走

	3月22日	3月23日	3月24日	3月25日	3月26日	3月27日	3月28日
パワトレ	コスト・デザイン審査準備						
足周り	試走データ整理			予備パーツ製作			
シャシ	コスト・デザイン審査準備						
エアロ	コスト・製作						

	3月29日	3月30日	3月31日
パワトレ	コスト・デザイン審査準備		
足周り	コスト・デザイン審査準備		
シャシ	コスト・デザイン審査準備		
エアロ	コスト・デザイン審査準備		



各セクションの活動報告

パワートレイン班

パワートレイン班リーダー 先進工学部機械理工学科 2年 朝日大介



2月のパワートレイン班は製作を進めました。

燃料タンクがアルミニウム製であるため、アルミ溶接が1つの難関となりました。漏れが許されないパーツであるため、溶接技術の優れたチーム OGのご協力を頂き製作しました。



Fig.1 燃料タンク製作過程

タンク本体は既に溶接を完了しており、燃料を注ぐ首部分の溶接が残っております。今後、フレーム側のステーは他パーツとすり合わせながら、時間をかけて製作してまいります。また、25年度まで遮熱版が燃料タンク本体に取り付ける形となっております。今年度からはフレームにステーを取り付ける形にして、少しでも燃料タンクに熱が入らないようにすることといたしました。

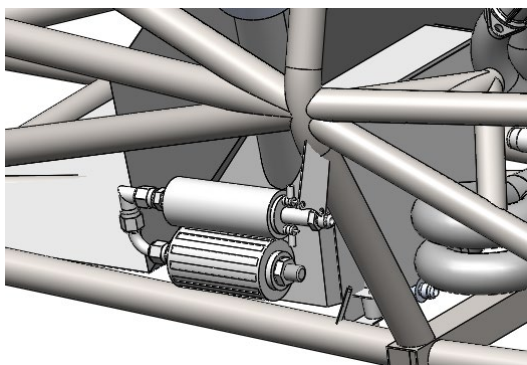


Fig.2 燃料タンク遮熱版ステー

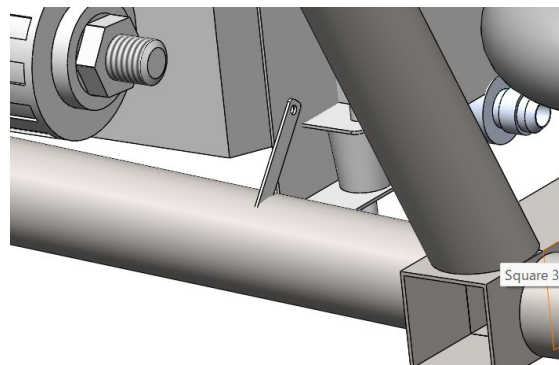


Fig.3 燃料タンク遮熱版ステー (拡大図)

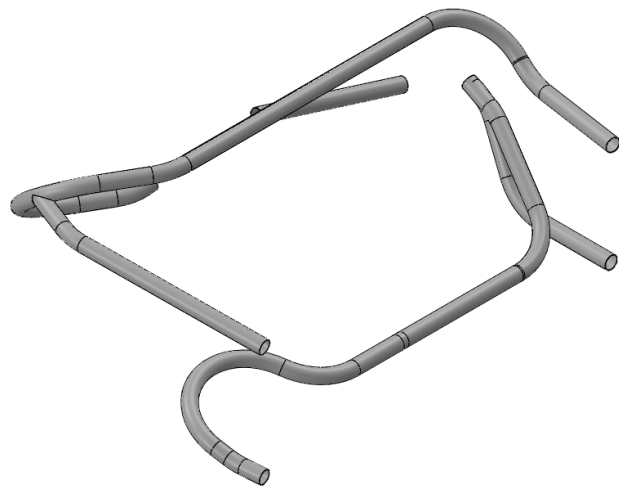


Fig.4 改良した冷却ライン

今年度の冷却ラインについては25年度の冷却ラインを搭載し、より安定したものとなるよう改良を加えました。改良にあたり、曲げの半径を100mmに統一しました。これには2点理由があります。1点目は企業様に発注する際に依頼しやすいという点です。曲げ半径がばらついていると、その分治具の数が増えてしまうため費用の増加に繋がります。2点目は冷却ライン内の圧力損失が少なくなるという点です。圧力損失の傾向として、曲げ半径が大きく、弧が短いほど損失は少なくなり、冷却性能の向上に繋がります。

また、2月には静的審査の点数を上げるべく、コスト審査への準備に着手しました。シェイクダウンまで時間も残されておりましたが、並行して全力で取り組んでまいります。



足回り班

足回り班リーダー 工学部機械工学科 2年 高橋真育



今月は車両の接地に向け、製作を進めてまいりました。

A-arm や Rod 類、アップライトブラケットの 1 セット目を製作が完了いたしました。また、ほとんどのフレーム溶接を行う足回りのステアやブラケット類についても溶接を終えることができました。



Fig.5 完成した A-arm

5 軸加工機によって製作する部品の加工は、リアベルクランクが完成いたしました。一方で、フロントアップライトは 5 軸加工機が学内に 1 台しかない都合上、製作はこれから行ってまいります。また、例年使用していない A7075 のアルミニウムを切削するため、加工パスの作成及び挙動確認に時間を要しております。

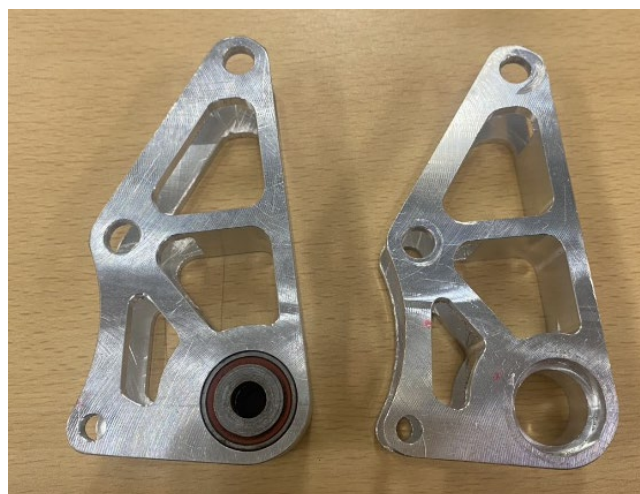


Fig.6 5 軸加工が完了したリアベルクランク



そのため、現状の製作ペースで行っていくと 3 月の接地およびシェイクダウンにフロントアップライトが間に合わないことが考えられます。そのため、現在は KRT25 で使用したフロントアップライトを流用し、今年度の設計したジオメトリーに近い値になるようなフロントアップライトブラケットを設計しています。

3 月にはシェイクダウンや足回りのセッティングを取る試走会があるため、今一度気を引き締めて活動を行ってまいります。



シャシ班

シャシ班リーダー 工学部機械工学科 2年 結解和宏



2月は、各パーツの製作を行いました。

・フレーム

フレームではフレームの単体完成に注力し、活動してまいりました。

レーザー加工機により作成した MDF 治具と、アルミフレームを用いた治具を作成しました。25年度治具と比較し、26年度治具では細かなアップデートを施しました。

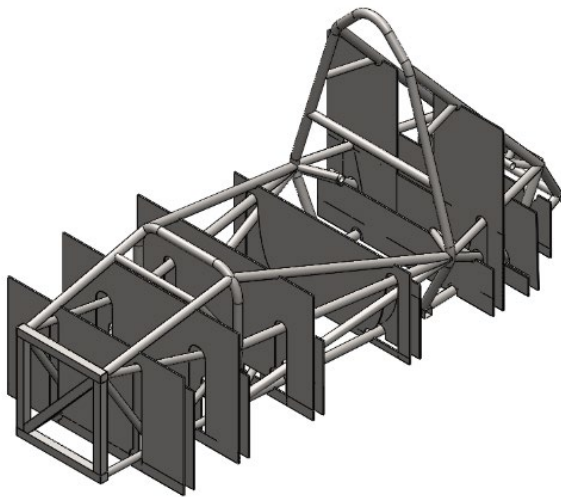


Fig.7 26 年度治具

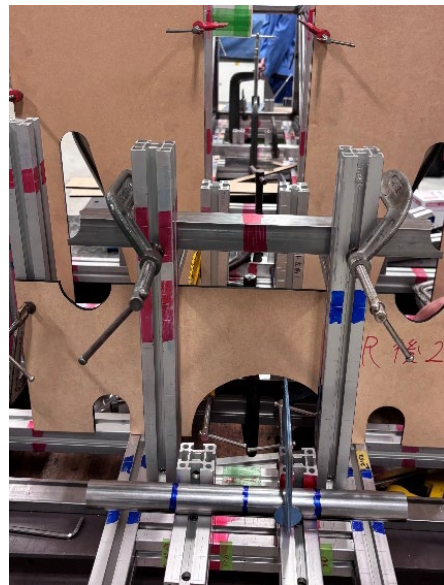


Fig.8 リアセクション製作面

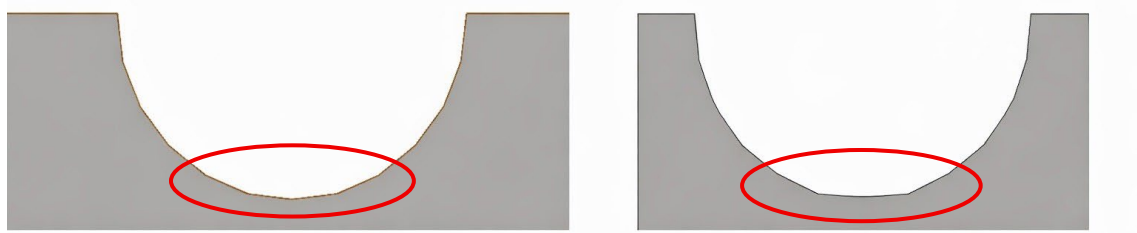


Fig.9 25年度治具(左) 26年度治具(右)

26年度治具ではパイプ固定箇所底辺をフラットな形状にいたしました。これにより、複雑な角度をもつパイプに対してもより正確な位置を出すことに成功しました。

・ステアリング

主にフライス盤を使い、ギアボックス、マウント、ステアの製作を進めました。シェイクダウンまでに製作を完了する予定です。



Fig.10 現在のステアリング周辺の様子

・その他のパーツ

シフター、クラッチに関しては製作が完了いたしました。ペダルに関しては5軸加工機での製作がチーム内での加工順位により遅れているため、シェイクダウンには昨年使用したペダルを使用する予定です。



エアロ班

エアロ班リーダー 工学部機械システム工学科 2年 菊地祐汰



今月は、先月に続き車両の製作を進めました。
エアロパーツのうちフロントウィングとリアウィングはまだ完成していませんが、それ以外のアンダーパネル、サイドポンツーン、カウルの製作を終えることができました。今年は昨年以上に複雑な形状に挑戦しており、積層作業も難しくなりましたが、試行錯誤を重ねながら何とか形にすることができました。



Fig.11 アンダーパネル、サイドポンツーン

また、今年のチームの目標である「測る」という取り組みに向けて、初めての試走の段階から開発に関わる計測を行えるよう、センサーの準備や計測環境の整備も進めました。これまでは車両を完成させることに重点が置かれることが多かったのですが、今年は走行データを取得し、それを開発に活かすという段階まで取り組みたいと考えております。

今年のエアロ開発では、昨年は十分にできなかった「測る」という工程を実際開発に結び付け、得られたデータを次の改良に活かしていくことを目標としています。まだ課題も多く残っていますが、シェイクダウンに向けて準備を進めながら、より良い車両づくりに取り組んでまいります。



スポンサー様一覧

HONDA

Tools by Sanjo Niigata

KYOWA

ONO SOKKI

VI-GRADE

digiCraft

SOLIDWORKS

IDAJ

JARI

ThreeBond

NATS
学校法人 日栄学園
日本自動車大学校



KIMURA **HEXA** **JAPAN**



株式会社
日研製作所

sgl carbon

enable



株式会社 三陽

シケマツ

HKS

WAKOS

HTFT
Honda Techno Fort



住友電装

Fomo Japan

ANA Tech

KYOWA JAPAN

ATJ

ST-LINK

株式会社 エステーリンク

THK
The Mark of Linear Motion

NSK

LECOFRAME

AUTISTA
RACING EQUIPMENT

BUSYU
BUSYU KOGYO CORPORATION

HI-LEX

Toray Carbon Magic Co.,Ltd.

Anker
INNOVATIONS
JAPAN

SANGO

FUKAI

3.peaks

ANEX
Action, nice & excellent



MATUI

NIBCO



ねじのハマノ

TESEC

X.A.M.

XENOVA

ITS
TOTAL TECHNICAL SOLUTIONS

DIXCEL
ADVANCED BRAKE TECHNOLOGY

southco

U-KART CIRCUIT
Tokyo / Akita

パサー

igus
plastics for longer life

FESTiKa
CIRCUIT TOCHIGI

K's Design&Paints
SHOW THE ORIGINALITY!

Hitachi Astemo

WD-40

公進ケミカル株式会社

GH CRAFT
Art & Science Composite
Design, Engineering & Manufacture

BILLION

EK CHAIN

Kinokuni
PERFORMANCE PRODUCTS

三陽ニイガタ
SANJO NIIGATA CO., LTD.

NOK



STF
high quality tuning shop

NDC

NHKニッパツ

(有) 斉藤塗装

工学院大学校友会 工学院大学機械系同窓会 工学院大学学生フォーミュラ OB 会

工学院大学 自動制御研究室



KOGAKUIN UNIVERSITY



連絡先

工学院大学 学生フォーミュラプロジェクト

工学院レーシングチーム (KRT)

顧問

工学部 機械工学科

自動車音響振動研究室 山本崇史 教授

メールアドレス : takashi_yamamoto@cc.kogakuin.ac.jp

2026 年度チームリーダー

工学院大学 先進工学部 環境化学科 2年 石井伶奈

メールアドレス : s324006@ns.kogakuin.ac.jp

住所 : 〒:192-0015

東京都八王子市中野町 2665-1 工学院大学八王子キャンパス 17号館 1階夢づくり工房

WEB page: <https://www.ns.kogakuin.ac.jp/www1032/>

Facebook: <https://www.facebook.com/KogakuinRacingTeam>

Twitter: <http://twitter.com/kogakuinrace>

Instagram: https://www.instagram.com/krt_fsae/

